

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2025年の開催に向け  
8月1日（木）より世界公募をスタート

優秀賞は米国アカデミー賞®短編部門へ推薦

ライブアクション、ノンフィクション、アニメーション部門のほか

Cinematic Tokyo 部門、U-25 部門、BRANDED SHORTS、

講談社の企画コンペも同時募集

**BOOK SHORTS アワードでは漫画・脚本も選考対象に！**

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（SSFF & ASIA）」は、2024年8月1日（火）より、2025年度の開催に向けたショートフィルム作品の募集を開始いたします。



## SNSで公開の縦型映像にもオスカーへの道が！

優秀賞が翌年のアカデミー賞短編部門に推薦されるライブアクション部門、ノンフィクション部門、アニメーション部門のほか、東京をテーマにした Cinematic Tokyo 部門や国内在住の25歳以下の若手クリエイターを対象とするU-25部門、企業・自治体のブランドムービーにフォーカスするBRANDED SHORTSなど多岐にわたるカテゴリーで国内外からの作品を募集いたします。

さらに、今年10周年を迎えたBOOK SHORTSアワードでは、短編小説に加え、新たに漫画や脚本も選考の対象となります。

また、**各部門（\*）ではYouTubeで公開されるショート動画やTikTokの縦型映像といったソーシャルメディア上の公開作品もノミネート対象となります。** \*ライブアクション部門アジア インターナショナル、インターナショナルは除く

部門のみならず、多様性がテーマとなった作品にSHIBUYA DIVERSITY AWARD、環境問題を描く作品に環境大臣賞、「HAPPY！ / 発幸」をもっとも体現する作品にHOPPY HAPPY AWARD、音楽・歌・声・音・楽器など「サウンド」がユニークで効果的な役割を果たす作品にJ-WAVE SOUND OF CINEMAアワードなど、SSFF & ASIAでは様々な受賞のチャンスと共に世界のフ

フィルムメイカーからの作品をお待ちしています！

SSFF & ASIA 2025 に向けた世界公募 URL <https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts/>



## グランプリ「ジョージ・ルーカスアワード」は、誰の手に！

6月に開催した第26回 SSFF & ASIA には、世界 116 の国と地域から集結した 4,936 点の作品が集まり、約 270 のショートフィルムが上映され、歴代 4 人目となる日本人監督作品（『せん』森崎ウィン監督）が今年のグランプリを獲得しました。

2004 年に米国アカデミー賞公認の映画祭となり、映画祭グランプリ作品を翌年のオスカーノミネート候補として推薦してきた SSFF & ASIA は、2019 年にはインターナショナル部門、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門からなるライブアクション部門およびノンフィクション部門の 4 部門、そして 2021 年には新たにアニメーション部門の推薦枠が認められ、**サンダンス映画祭やバームスプリングス映画祭と並ぶ合計 5 つの部門優秀賞に翌年のオスカー獲得へのパスポートを授与できる映画祭として成長してまいりました。**

27 回目の開催となる 2025 年、果たしてジョージ・ルーカスアワードの栄光は誰の手に！映画祭では 10 月より、ライブアクション部門、ノンフィクション部門、アニメーション部門のノミネート前哨戦となるショートリストを毎月発表してまいります。ぜひご注目ください。

## 「講談社が 1000 万円お支払い！ショートフィルム企画を募集！」

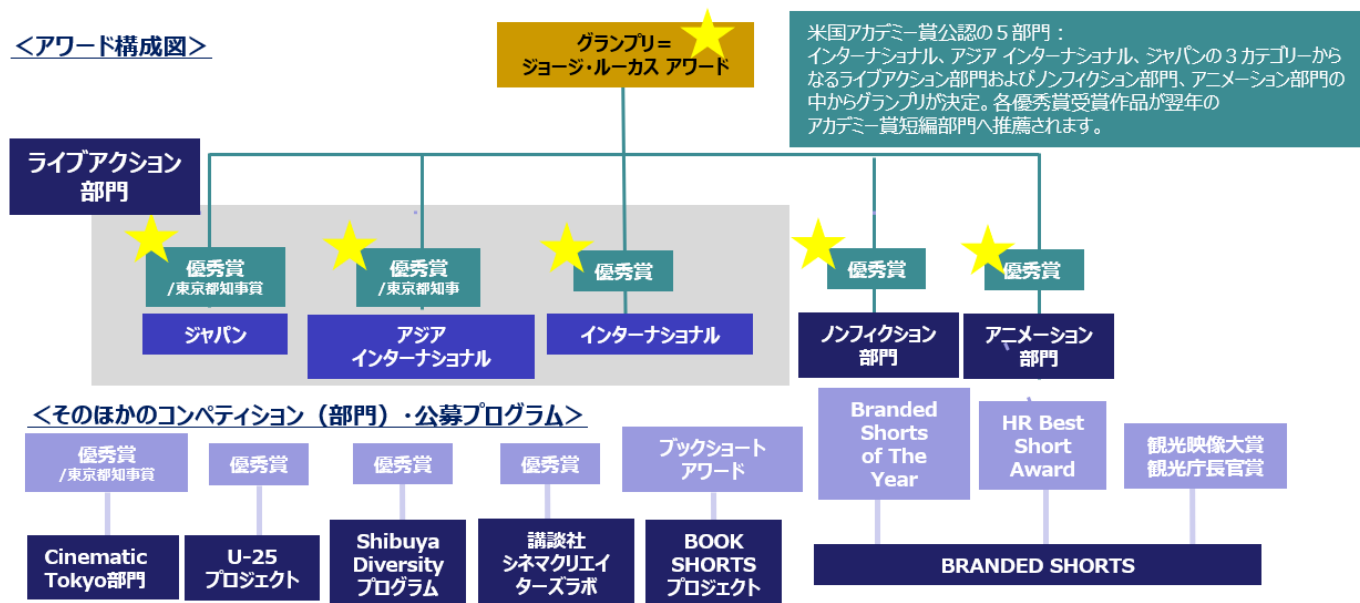


第 3 回講談社シネマクリエイターズラボの募集も本日よりスタート。アニメ・CG・実写...心揺さぶる短編で世界の映画祭を目指そう！世界を、誰かの心を Inspire する、impossible な（=ありえない！）想像を超えた物語を一緒につくりたい、という映像クリエイターさんのご応募をお待ちしています！

世界のフィルムメイカーたちと並んで夢を掴み実現する映画祭として、SSFF & ASIA は 2025 年に向けて引き続き多くの素晴らしい

いい作品に出会えることを楽しみにしています。

## <アワード構成図>



## <SSFF & ASIA 2025 募集要項>

- **募集部門**：ライブアクション部門（インターナショナル/アジア インターナショナル/ジャパン）、ノンフィクション部門、アニメーション部門、Cinematic Tokyo 部門、U-25 プロジェクト、BRANDED SHORTS、講談社シネマクリエイターズラボ、BOOK SHORTS アワード

■ **募集期間**：2024年8月1日（木）14：00より開始 ※応募締切は各部門によって異なります

■ **応募方法・応募に関する詳細**：SSFF & ASIA 2025 作品募集ページを参照ください

<https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts/>

- **発表方法**：ライブアクション部門、ノンフィクション部門、アニメーション部門入選候補作（ショートリスト）は各応募月の翌々月末にウェブサイトで発表。入選候補作品の中から、最終入選作品が選ばれます。全部門の最終入選作品（映画祭で上映される作品）は2025年4月末までにウェブサイトで発表

■ **応募に関する問い合わせ先**：submission@shortshorts.org

\*米国アカデミー協会による規定の改定により選考基準に変更が生じる可能性があります。

## 【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、世界のショートフィルムの祭典へと発展。2004年には米国アカデミー賞公認映画祭に認定され、同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生しました。現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

また、2018年には映画祭20周年を記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となり、翌1月には、20周年記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」も開催しました。

2019年の映画祭からは、アカデミー賞推薦枠がインターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品へと拡大し、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

**【本件に関するお問い合わせ先】**

ショートショート実行委員会 担当： 田中 TEL : 03-5474-8201 press@shortshorts.org

画像のダウンロード：

<https://drive.google.com/drive/folders/1T7F8v3ZfZQLdEHKo2m1bZPZJCvYARYAD?usp=sharing>